

報道関係各位

2018年5月15日
国境なき医師団 (MSF)

パレスチナ：ガザ衝突で死傷者多数——「容認できない、非人道的行為」

国境なき医師団 (MSF) は 2018 年 5 月 14 日、パレスチナのガザ地区にて多数の外傷患者を受け入れた。手術は 30 件余りにおよび、複数の患者を同時に手術することや、手術室以外で手術せざるを得ない状況もあった。これを受け、パレスチナにおける MSF の活動責任者マリー＝エリザベス・イングレスは以下の声明を発表した。

「ガザ保健省によると 14 日の死者は 55 人におよび、負傷者 2271 人のうち、1359 人は実弾によるけがを負ったとしています。このような膨大な数の非武装の人びとが、ごく短時間で撃たれている現実は、決して容認できない非人道的な行為といえます。MSF の医療チームは 4 月 1 日以来、24 時間体制で稼働し外科手術と術後ケアを提供してきました。そしてその状況は、今夜も明日も、またそれ以降も、医療が必要とされる限り続いていくでしょう。MSF の病院の 1 つは今、2014 年のガザ紛争時に匹敵するほど混沌とした状況にあります。多数の負傷者が短時間に運ばれ、医療スタッフは完全に忙殺されているのです。14 日には 30 件余りの手術を行い、2～3 人の患者を同じ手術室で手術することや、廊下で手術したことさえありました。

この惨状は、過去 7 週間におよぶイスラエルの軍事作戦によって引き起こされています。ガザとイスラエルを分離するフェンスに近づく者は、誰でも合法的な軍事標的だとして実弾による銃撃が正当化されています。負傷者の大半は一生障害を抱えて生きていくしかないでしょう。

5 月 15 日は、イスラエル建国によってパレスチナ人が居住地を追われた悲劇を嘆く日「ナクバ（大惨事）の日」であり、新たな抗議デモが予定されています。イスラエル軍は 武力において圧倒的に劣るデモ参加者への過剰な暴力を止めなければなりません」

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平

TEL：03-5286-6141 携帯：080-2344-0684 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ_Press